

## 市長記者会見記録

日時：2021年6月1日（火）14時00分～14時21分

場所：第3庁舎18階 講堂

議題：市政一般

### <内容>

#### 《市政一般》

#### 《オリンピック聖火リレーについて》

【司会】 ただいまより定例市長記者会見を始めます。

本日の議題は市政一般となっております。早速、質疑に入らせていただきますが、進行につきましては、幹事社様、よろしくお願いいたします。

【読売（幹事社）】 読売新聞です。どうぞよろしくお願いいたします。

【市長】 はい。お願いします。

【読売（幹事社）】 最近の質問とちょっと重なっちゃったら恐縮なんですけど、月末に近づいてきました聖火リレーの関係でお伺いします。

開催、運営について、現時点で市長さん、どうお考えなのか、現時点のお考えをちょっと教えていただければと思います。

【市長】 川崎市の聖火リレーのイベントについてですか。

【読売（幹事社）】 はい。そうです。

【市長】 現在のところ計画に変更はありません。けれども、いわゆる今のまん延防止重点措置が延期されるだとか、あるいは感染状況が、変化によって、それは変わりが得るということは考えられますが、現時点での変更はないということでございます。

【読売（幹事社）】 県との最近のやり取りというか、何かございましたら、現状、いかがなんでしょうか。その辺は。

【市長】 細かい日々のあれは、ちょっと私も聞いておりませんが、今の状況というのも県としても判断をどうするのかという考えあぐねている状況じゃないかなと思いますので、それは今後、県とも時期が迫ってくる段階で、しっかりと調整はしていかなきゃいけないとは思っています。

【読売（幹事社）】 自治体、市町村の首長さんの中には反対を表明される方も中にはおられますが、市長さんとしては、そういうお立場では現時点ではないという感じで。

【市長】 ええ。反対するということではありません。ただ、何よりも安全でなけれ

ばならないという思いはありますので、そういった意味では、感染防止対策というのは、どういうイベントであれ、しっかりと対応しなければならないと思いますし、それを行った上での判断ということになると思います。

#### 《正副議長 退任会見について》

【読売（幹事社）】 ありがとうございます。

もう一つ、ちょっと個別具体的なことで質問なんですけれども、先日、前議長さん、副議長さんが会見やられて、その中で、市長さん、なかなか、職員の方に抱え込まれてですね、なかなか5分時間取ってもらうのも大変なんだよなんて、実感籠もったようなお言葉があったんですけれども、市長さんの御感想とか、あるいは何かそれを受けておっしゃれることがあれば、ちょっと伺いたいと思います。

【市長】 私、新聞報道で見て、えって言って、かぎ括弧つきで、こう書いてあったものですから、これ、こういうふうに言われたのかなと思って、どうなんだろうと思っていましたら、議会局のほうから、どういうふうに正確にしゃべったのかという、そのままのものを見させていただきましたら、随分内容が、ちょっと違うなと思ってですね。あれ、かぎ括弧つきでといったら、普通は正確に、書くもんだと思うんですけれども、随分、どうもちょっと違うかなと思って、ちょっと私もびっくりいたしました。ただ、当然、私、職員と一緒に仕事しておりますので、「囲われている」という表現が正しいというのかどうか分かりませんけど。

ただ、御指摘いただいている中で、そうかなと思うのは、やはり外に出て現場を見るだとかという機会というのは、コロナの影響もありますけれども、非常に少なくなってきたということは否めませんので、そういった意味では、もっともっと現地、現場主義を言っている私としては、もっと外に出ていきたいなと、そして、現場の職員の声、あるいはもちろん市民の声というのを、しっかり聞いていくということをやらなければいけないというのは御指摘のとおりかなと思っています。

【読売（幹事社）】 補足すると、たしか市長さん御自身には意思疎通したいお考えがあるようだとおっしゃってましたね、たしか。会見された方が。

【市長】 ええ。それは誰とでも、どこでも、どのような形でも、私はいろんな方と意見交換させていただきたいというのは、何となくそういうネイチャーだと私は思っていますので、これからもそういうふうに努めていきたいとは思いますが。

そうですね。議会側とのコミュニケーションというのも、さらにこういうコロナの状況で、なかなかコミュニケーションが取れづらいからこそ、より積極的にやっていたかなければならないなと思っております。課題として感じております。

【読売（幹事社）】 ありがとうございます。

《新型コロナウイルスワクチンについて》

【NHK（幹事社）】 NHKです。よろしくお願いします。

ワクチンの接種についてお伺いしたいんですが、東京のほうで大規模接種が開始されていて、一方で予約がですね、埋まり切らないというような話も出ていますけれども、現状の川崎市の大規模接種会場の予約状況について教えていただけますか。

【市長】 まず、昨日までの状況が75歳以上の方ということで、それは皆様にお伝えしたとおり、約4,000件というのが入っておりました。今日、8時半から始まって12時までの時点ですけれども、約8,000件という形で新規で入っております。3時間半で8,000件ということですので、65歳以上74歳まで（未満）の方というのは、少し距離が遠くてもアクセスしやすいという部分もあるのかなとは思いますが。ちょっと今日の午後からもどうなっているのかなという推移を見たいと思います。

ネットのほうは順調だと聞いていますが、やはり若干、コールセンターのほうは少しつながりにくい状況もあったと聞いています。特に混乱だとか苦情を頂いているということはないそうです。4分の1ぐらいがコールセンターからの予約と聞いていて、4分の3はネットというのが11時、12時ぐらいまでの状況だと報告は受けています。

今後の推移を見守りたいと思いますけれども、大分、個別接種のほうも、ワクチンのほうも流通してきたということ、また医療機関のほうも御協力をいただいているということもあって、そっちのほうの予約を取れてきているという話も聞いていますので、両方合わせた形でやればよいなと思っています。

【NHK（幹事社）】 ありがとうございます。

もし、大規模接種会場で、今、10万回ですかね、計画されていますけれど。

【市長】 5万回、5万回です。

【NHK（幹事社）】 5万回、5万回ですね。

【市長】 はい。

【NHK（幹事社）】 そこに到達しなかった場合、全体のスケジュールといいますか、7月末までに終わらせたいというところにも、当然、影響は出てくると思うんですが、現状、その目標に対しての見通しというのは、どのように。

【市長】 ちょっと今現時点で申し上げるのは時期尚早かなと思っています。もう少し、この数字の推移見たいなと思います。

【NHK（幹事社）】 分かりました。ありがとうございます。

【市長】 はい。

【NHK（幹事社）】 各社さん、お願いします。

【市長】 はい、どうぞ。

【読売】 読売新聞です。私もワクチンの関係で伺いたいんですが、大規模接種が今のところ昨日までで4,000件で、今日新たに8,000件、午前中時点でということなんですが、我々の支局にも、結構高齢の方から予約取れないとか、電話、今までかかってきてた割には、そんなに埋まっては、すぐには埋まってないなという感じもするんです。その、何でなのか、もし分析されているのだとしたら。分析まではしてないというのであれば、なぜなのかというのを推測で構いませんので、お聞かせ願えますか。

【市長】 現時点でワクチンのVRSですね。システムのところで、昨日かな、一昨日の時点でなんですけれども、1回目の接種ができた方というのが、個別医療機関のところは全部を把握することが非常に困難なのであれなんですけれども、個別と、それから集団で、約。あれ、ごめんなさい。5万件、5万1,000件でありまして、これって、あ、ごめんなさい、集団接種会場が3万というのと、足して8万でよかったですかね。

【健康福祉局】 若干補足させていただきます。

5月30日までで、第1回目接種分といたしまして、5万1,000回ほどの速報値がございます。この中には集団接種も個別接種も入っているんですけれども、集団接種の部分につきましては、この3週間分の数値でございますので、約1万5,000件程度が、この中では集団接種の部分で、残りが個別接種の部分というような、そういう状況でございます。

以上でございます。

【市長】 現時点で5万1,000件分が大体1回目は終わっているということで、15万人のうちの3分の1ぐらいというのが1回打っていると。それプラスアルファ、予約というのが、徐々にであるけれども、個別接種機関とかで進んでいるという状況を踏まえると、やっぱり私も肌感覚の部分だとか、あるいは自分の知り合いなんかの話聞きますと、少し、何となくワクチンが供給されてきたという感覚というので、ことから、ちょっと、そんなに焦らなくても来るんだなという感覚を持たれている方というのが多いのではないかなと。ですから、2週間ぐらい前の感覚と、ちょっと随分と雰囲気は変わってきていると思います。まだ予約が取れている数でも増えていると

いうのと、予約が取れていない方も、もう何かワクチンって来たんだなというようなことから、それほど物すごくどうしてもというような感覚ではなくなってきたという、そういう感覚はあります。

【読売】　じゃあ、わざわざ大規模接種会場まで行かなくても、近くの個別とか集団の会場で、ちょっと待てば行けるかなって思っている。

【市長】　ええ。特に75歳以上の方が、知っているけれども、ちょっと遠いから個別のほうでやるよとおっしゃる方だとかですね。そこがやっぱり、75歳以上の方の大規模接種会場と65歳以上から74歳までの方と、少しちょっと色合いは違うのかなと思います。

【読売】　分かりました。

あと、もう一つ、福岡市や北九州市のように、自治体独自の優先接種というのは何かお考えありますでしょうか。

【市長】　自治体独自の優先接種という感覚でいうと、例えば、ほかの都市はどうなっているんですかね。今、川看専だとか看護短大のところでやっている、いわゆる高齢者施設の従業員の皆さんとかというのは、これはどうなんですかね。これって独自のあれになるということではないんですかね、解釈としては。

【健康福祉局】　若干補足させていただきます。

旧川崎看護専門学校と市立看護短期大学のほうでは、現在、高齢者施設の入所の施設を中心としていますけれども、従事者の接種を進めております。ですけれども、この部分については、国の優先順位上は高齢者に次ぐ順位、あるいは巡回接種をするときに同時に接種しても構わないというような順位の部分ですけれども、その部分をなるべく円滑に接種できるように、2か所ほど専用の会場を設けているというような状況でございます。

国のほうにおきましては、この間、高齢者接種の目途を立った上で、市町村の優先的な部分については、優先順位については考えるのは差し支えないような御発言もありましたけれども、現状につきましては、高齢者接種に尽力しているというような状況でございます。

以上でございます。

【市長】　はい。よろしいでしょうか。

【読売】　ありがとうございます。

【東京】　すいません。東京新聞ですけど、ワクチン接種の件、ちょっと。

そこで今日の数字の見方伺いたいんですけれども、現状午前中だけで8,000件と

ということで、横浜のやり方なんかを見ていると、電話のほうがどうしても時間がかかって、ネットのほうが件数が多く予約できるということで、少し電話だけの時間を設けたりとかしてやっているようなんですけど、今日もコールセンターが、比較的、そういう意味では埋まっている状況があるということを見ると、かなり、まだ受けたい人はいるんだけど、今日のこの数字というのは、取れないで待っている人が順次積み上がっていくようなイメージになるのか、その辺りはどういうふうに。

【市長】 いや、それほどネットの状況も混み合っているという状況ではないので、皆さん、大分冷静に受け止めていただいているのではないかなと。最初の3時間なので、電話のほうなんかもちよっとつながりにくい、一時期時間的はあったと聞いてますけれども、総じてあまり混乱はないと思います。

【東京】 そうすると、比較的、この大規模接種のほうを受けたい人については、ゆっくりやっていっても大丈夫なのかなという。

【市長】 そうですね。

むしろ、ちょっと気になっているのは6月5日のほうですね。5日のほうの集団接種が、今度、予約がありますので、大規模接種という意味では順調に滑り出していると思うんですが、5日のほうは、やはり同様に、回線数も増やして、ネット対策もちゃんとやってという形ですけれども、どうしてもやっぱりそこに負荷がかかってくるというのは考えられますけれども、ちょっと、それっていつも申し上げておりに、個人接種との兼ね合いというか、個人接種のほうで予約取れてるから、もういいやって、集団接種のほうは、もう次という形と、いわゆる予約システムを通さないで個別に医療機関とやっている方って、やっぱり結構多いというのは、高齢者の場合、非常に多いので、そういう話というのは、かなり聞きます。ですから、いろんな見方はあると思います。通常に行っているかかりつけ医の方に、そのままお願いして、その順番来たら連絡しますねと言われていた方もいれば、あるいは電話でつながりにくいから、もうこっちに先来ちゃったという方もいるし、個別の医療機関にですね。いろんなパターンがあって、個別医療機関の場合は、なかなかリアルタイムに数字を把握するというのが非常に難しいんですが、そういうことの全ての兼ね合いの中で、今、進んでいるのかなと思います。

【東京】 いろいろな接種の仕方が増えてきている中で、例えば、1人の人がちょっと違う受け方で接種、個別と集団で受けてしまったりとか、何かちょっと混在するトラブルとかも起こり得るのかなと思うんですけど、その辺り、どういう懸念がありますでしょうか。

【市長】 そうですね。特に大規模接種のところとかというのは、キャンセルが当日に発生するとかというのは考えられると思います。割合がどうかというのは、ちょっと。東京会場のものが参考になるのかというと、それがどうなのかなという。ちょっとやってみないと分からない部分があるので、そうですね。ちょっとそこはやってみないと分からないと。

そうですね。ほか、重複のところというのは、もうとにかく、なるべく避けていただきたいということをお願いするしかないなので、そこは御協力をお願いするしかないですね。すいません。

【東京】 分かりました。

【市長】 みんなが受けられるようにするために、ぜひ、そこは御協力を。自分が受けたいという気持ちと同じように、やっぱりみんなも受けたいので、二重登録は避けてくださいとお願いするしかないですね。

【東京】 分かりました。

#### 《英国代表チーム事前キャンプ受入について》

【読売】 じゃあ、すいません、何度も、読売新聞です。

五輪の関係で、先ほども聖火リレーの公道でやるやらないというのは、今、県が恐らく考えているところじゃないかとおっしゃっていましたが、どうしても五輪関係って、自治体ってどうしても県だったり、国とか組織とか、そういうところの意向や動きに左右されてしまうところも大きいと思うんです。そういう県の判断待ちとか、その判断が遅ければ、対応に追われるのって、結局、自治体ですよ。その辺り、聖火リレーにしる、五輪にしる、自治体の長として思うところがあればお聞かせ願いたいんですが。

【市長】 そうですね。特に私たち開催都市ではないので、開催都市に比べては、まだましなのかもしれませんが、特殊な例とすれば、イギリスチームというのは規模が大きくて、国単位でドンと来るので、それだけ左右される。本市と横浜、慶應との3者で受けるインパクトというのは、ほかの国の事前キャンプとちょっと度合いが違う。ボリューム感にしても、対応にしても、ちょっと違うぐらい大きいかなと思うんです。ですから、事前キャンプのいわゆる指針みたいなものが、あれは組織委員会のほうからですよ。から出るということになっていますが、その辺りの自治体対応の指針というのが細かく正確なものが早く出てこないとおっしゃるような突然何かやると言われても、なかなか難しい部分があるので、そこはいろんなルート通じて、担当から国のほうに言ったり、私から言ったりとかということとは常時伝えていますので、そ

こはうまくやっていきたいと思いますが、いかんせん、みんなばたばたという感じがすよね。

【読売】 ありがとうございます。

【司会】 いかがでございましょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日の会見、以上をもちまして終了いたします。ありがとうございました。

(以上)

---

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当

電話番号：044(200)0312